

令和元年度 幼稚園等初任者研修（第1回）報告

5月13日（月）及び20日（月）、幼稚園等初任者研修（第1回）が静岡県総合教育センター、静岡県東部総合庁舎の2ヶ所を会場に行われました。本研修会には、静西管内25人、静東管内27人の初任者が参加しました。

今回は、講師に園長先生をお迎えし、「幼稚園教諭・保育教諭としての心構え」、「週案・日案の作成」について具体的な事例を交えたお話を伺いました。また、グループ協議では、「保育上の自己課題」、「幼児理解と評価」について話し合い、幼児教育の基本的な知見を広めるとともに、幼稚園教諭・保育教諭としての使命感と1年間の研修への意欲を高めることができました。さらに、日々の保育実践の喜びや悩み、課題についても活発な意見交換がなされ、共感し合うこともできました。



「幼稚園教諭・保育教諭としての心構え」



掛川市立すこやかこども園 清水 裕子 園長

- ・園長自身の初任者の時の取組から
- ・魅力ある先生とは
- ・保育者として（子どもからの学び、自らの学び）



小山町立駿河小山幼稚園 荒生智恵美 園長

- ・社会人として
- ・組織の一員として
- ・幼稚園教諭・保育教諭として

「週案・日案の作成」



磐田市立岩田こども園 原 暢美 園長

- ・週案・日案の作成において大切にしたいこと
- ・明日のよりよい保育につなげるために
- ・目の前の子どもの姿から学ぶ姿勢と柔軟な対応



清水町立清水南幼稚園 田代 幸子 園長

- ・幼児理解とは
- ・週案・日案の作成について
- ・明日につながる保育をめざして

グループ協議1「保育上の自己課題について」 ～1か月を振り返って～

1か月を振り返り、KPT法を用いて「うまくいったこと・今後も続けたいこと」「課題であると感じたこと」「明日からできそうなこと・やってみようと思うこと」について意見を出し合い、他の研修員と共有したり、確認したりして解決の糸口を考えました。

笑顔で子どもに接し一緒に遊ぶことで遊びに興味をもたせることができた。

時間が足りず、やるべきことがなかなか終わらない。仕事の優先順位を考えないと。



さっそく視覚化を図り、片付けがスムーズにできるよう絵表示や写真を掲示したい。

その方法、いいよね。遊びを広めるための環境づくりについてさらに考えていきたい。

グループ協議2「幼児理解と評価」

「幼児理解と評価」の講義に続き、子どもの具体的な姿をもとに「自分が見取ったAくんの思い（幼児理解）」と「自分だったらどのようにするか」について意見交換を行い、教師の関わり方について考えました。

まだ新しい環境に慣れていないから不安な気持ちでいっぱいでも無理ないと思うけど。

まず、登園できたことを認めてあげたい。泣くことも自己表現の一つとしてプラスにとらえたい。



家庭で寝る前に本を読んでもらっているかも。もしかしたら隣の子が気になるのかもしれない。それとも……

私だったら絵本コーナー一緒に行って読んであげたい。「1冊読み終わったら寝ようね。」と見通しをもたせるのはどうかな。

参加者のアンケートから

- ・ 緊張したが、みんな保育に不安を抱えていて同じ状況なんだということが分かり、これからも頑張っていきたいと思った。子ども一人一人の心に寄り添う保育者になりたい。
- ・ 同じ子どもの姿を見ていても、自分では考えつかなかった子どもの読み取りがあった。園でも先生方との会話の中で、様々な考えを聞いていきたい。
- ・ 今日の研修を通して、明日からやってみたいことが明確になった。明日、子どもたちに会うのが楽しみだ。
- ・ 計画を立て見通しをもって保育することで、改善点が明らかになっていくと感じた。今日学んだことをさっそく明日からの保育に役立てていきたい。